

## 福井県協会の現状

福井県 OL 協会をはじめ県内の OL 競技者人口は、40 年前の地域クラブ、30 年前の福井大学愛好会のメンバーを主体としていたが、高齢化をすでに通り過ぎてしまい、また、大学クラブも消滅してしまったため、希少な県外大学 U ターン者に頼らざるを得ない時期がもう 10 年も続いている。

そのため、先の全日本大会も県内だけでは運営できず、北信越 OL 連絡協議会に要請して、石川・富山県、金沢大学の学生に運営協力をお願いして、そのおかげでようやく開催できたような次第です。

## 制約が増えるテレイン

ここ 10 年ほどは、初心者勧誘への取り組みを行い、年 5 回ある県内 OL 大会のうち、4 月下旬は福井市の県営運動公園で、初心者教室 & OL 大会を開催してきました。そのころから、イノシシ被害が県内北部にも押し寄せ、電気柵などの設置により丘陵地の使用ができなくなり、たとえば東日本大会を開催した「鋸岳」などでは、人が山から締め出されてしまい、次第にテレインは公園及びその周辺の管理されたエリアに限定されてしまいました。

## 活動の中心は公園 MAP

ちょうどそのころ県外からの U ターンしてきた三上雅克が精力的に公園テレインを開発し、10 カ所ほどの OMAP を作成しました。

この公園マップで小中学生 OLer が 3 人育ちました。そのうち 1 人は高校進学でサッカー転身？ また、2 人の中学 2 年生は近所同士で、昨年 9 月の全国レクリエーション OL 大会と全日本 OL 大会に参加し、対決は相互に 1 勝ずつの引き分けとなり、全日本大会 MBS で優勝した中学生もその一人です。今年は中学 3 年で受験となり、高校では受け皿がないのが悩みです。

今年は、新人の発掘を目指して、10 月の県スポーツ祭 OL 大会では、福井県総合グリーンセンターでスプリント 0 & キッズ 0 として大会を企画しました。キッズ 0 は 70m×180m の芝生広場の周囲を 1 周するコースを設定し、公園に遊びに来た親子連れを誘って、親も安心して見まわれる範囲で「初めての一人でオリエンテーリング」を楽しんで



もらう予定でした。そのため、10 時から 12 にまでの 2 時間受け付けし、その間に 30 分ごとに初心者説明を行い、順次スタートしてもらい、最初に広場を回りでオリエンテーリングを眺めている親子に呼びかけ、興味を示した子供たちに参加を促す「芋づる勧誘作戦」を練っていました。

雨のなかを運営しましたが、金沢大学および県内の一般参加者によるスプリント大会のほかは、小学生 2 人と家族 1 組の参加に終わってしまいました。来年もう一度チャレンジしたいと思います。

## 福井市民秋季大会

一方、11 月の福井市民秋季 OL 大会は、日本一短いパーマネントコースと評される「テクノポート総合公園」で、最近実施している凧あげ & OL 大会を今年も実施しました。こちらは、1 週間も前から雨の予報でなかばあきらめていましたが、公園事務所の方から、「雨でも出勤日なので、テントの受付は設営します。雨天中止にされる場合は朝連絡いただければ、雨のやみ間に来られた方にも事務所のマップを渡してオリエンテーリングをやらせてもらってもいいですよ。」というやさしい連絡をいただき、これは放っておくわけにはいかないと考えていたら、福井市内は雨にも

かかわらず、会場近辺は海辺で雲が風に吹き飛ばされたのかどうかわかりませんが、奇跡的に雨が降らず、午前・午後の 2 セットを開催することができました。雲を吹き飛ばすほどの風ですので凧あげには最適で、子供たちは大はしゃぎで、オリエンテーリングの前後に凧あげも楽しんでいました。小学 6 年の女子 3 人が、競争しようとして一人ずつでチャレンジしてくれ、結果は 3 人そろって帰ってきてしまいました。来年も参加したいといってくれたのはうれしかったです。このような地道な活動が未来の選手になることを願って、もう少しあきらめずにやっていきたいと思っています。

(林 博)